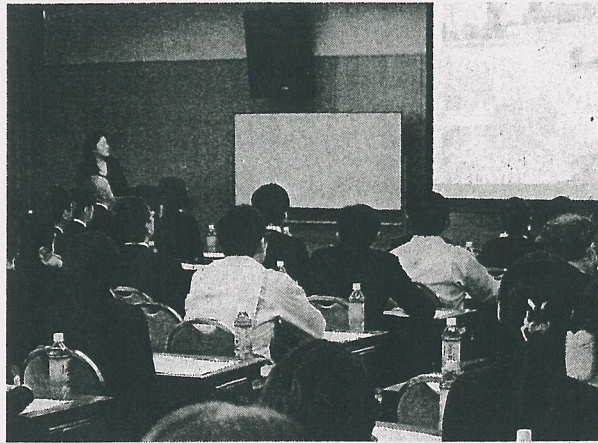


新潟で設備女子会立ち上げも

設備六団体協らが技術講演会



女性技術者の講演を開く参加者

建築設備六団体協議会 設備女子支援ネットワークは11日、「15年度技術講演会」を新潟市中央区の新潟テルサで開き、参加した約100人に活躍している女性技術者の話を聞いた。

どを紹介した。

主催は同ネットワークおよび一般社団法人建築設備技術者協会北信越支部、公益社団法人空気調和・衛生工学会北信越支部、新潟空気調和衛生設備研究会、冒頭のあいさつで、空気調和・衛生工学会の坂口淳北信越支部長が「新潟県においても女性技術者の活用が求められており、最新の情報や事例を紹介する。新潟で設備女子会を立ち上げる話もある。懇親を深めてもらいたい」と呼びかけた。

会では、山下設計の大山有紀子氏が講師となり、「設備設計の事例紹介」を軽井沢アイスパークと設備女子会の活動について話し、自身が設計に携わった施設の概要や特徴などを説明するとともに、設備女子会の活動を紹介。勉強会や交流会などを通じて働き方や生き方を学ぶ機会になっており、「有益な情報を発信していきたい」と力を込めた。

続いて、TOTOの眞島香氏が「女性へ配慮したパブリックトイレ」、遠藤照明IPソリューション課の名黒麻衣子氏が「あかりに魅せられて」と題して講演。設備女子

会事務局の竹下香里氏が入会について説明した。

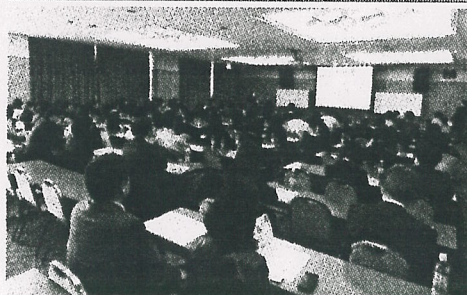
新潟建設新聞

2016年(平成28年)3月16日(水曜日)

活躍する女性視点に

設備技術者向け講演会

建築設備六団体協議会「設備女子支援ネットワーク」が11日、新潟テルサで開かれ、多数の会員などの主催、新潟県設備設計事務所協会や新潟県空調衛生工事業協会、新潟県設備業協会の後援により、設備技術者のための技術講演会が活躍している女性技術者たち



女性の視点を生かした創意工夫が紹介された

子会の活用について▽女性へ配慮したパブリックトイレ▽あかりに魅せられてをテーマにそれぞれ講義が展開され、女性の視点を生かした創意工夫も併せて紹介。

冒頭、軽井沢アイスパークへ「設備設計を紹

介した、山下設計の大山有紀子さんは寒冷地ならではの空調設備や電気設備の特長を示し、TOTOの眞島香さんは、女性へ配慮したパブリックトイレについて「快適がスタンダード。自宅よりも長い時間を過ごすオフィスで、トイレの重要性は高まっている」とし、女性への配慮やユニバーサルデザイン、持続可能な維持管理の重要性なども指摘した。遠藤照明の名黒麻衣子さんは照明シミュレーション技術とその効果について概説した。

閉会前には2012年11月18日の「建築設備士の目」に発足し、建築設備業界で働く女性技術者同士の親睦と働きやすい職場環境づくりの構築を目指して活動している「設備女子会」の役割や活動内容も紹介された。